



日本共産党 都議会議員 Japanese Communist Party

# 福手ゆう子都政レポート

2021年8月21日号 NO.177

福手ゆう子事務所：文京区白山3-2-5

☎03-3814-1076（お困り事の相談はこちらへ）

## 第2回都議会臨時会はじまる 都民の声が都政を前に動かす

都議会は8月18日〜20日の期間で第2回臨時会を開催します。7月中旬から新規感染者が急増し、重症化しても医療機関で受け入れられない事態が起きています。一方で、五輪大会は強行され、政府は「中等症は原則入院」、小池知事は「自宅も病床のような形で」と発言しました。



新型コロナ対策の抜本的強化を求める申し入れ（7.19）



関東大震災朝鮮人虐殺犠牲者の追悼式典に追悼文送付を求める申し入れ

9月1日に都立横網町公園で行われる関東大震災朝鮮人虐殺犠牲者追悼式典に、歴代知事は追悼文を送付してきました。しかし、2017年以降、小池都知事は送付を拒否してきました。党都議団は、今年も追悼文を送付するよう申し入れましたが、副知事は「今年も送付しない」と答えました。追悼文送付の中止は、歴史の事実を隠蔽し、歴史修正に手を貸す行為であり、特定の民族への差別・偏見、ヘイトスピーチを助長するものです。都は昨年、「人権条例」を設置し、追悼式典の近くで行われるヘイト集会での言動をヘイトスピーチであると認定しています。反省なく送付しない知事の姿勢は改めるべきであり、都民の人権を守る都市の願いに逆行したものです。

東京都は命を守るため、早く医療につなげる対応と、感染者を減らす対策を、早急に取り組むことが求められています。今臨時会で「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」が設置されることとなります。「コロナ対策に全力集中を」と訴えた都議選で躍進し、党都議団がこれまで一貫して、新型コロナ対策の検討や調査、検証などを行う特別委員会の設置を求めてきた力が、大きな前進をつくりました。

また、専決処分した補正予算の審議のために臨時議会の招集を要望し、第1回臨時会でも会期延長の動議をしました。そのことは第2回臨時議会の会期を3日間とすることになりました。そして、緊急事態宣言の延長にともなう補正予算案では、休業や時短により減収した中小企業に対する月次支援給付金を、これまでの給付額から東京都が上乗せすることが議論されます。声を上げれば政治は変えられることが都議選を通して、都政を一步ずつ前に動かしていると、私も実感しています。コロナ封じ込め、命を守る都政実現へ、ひきつづき頑張ります。